

【訪問先詳細】**1 わせがく^{ゆめいく}夢育高等学校**

- (1) 所在地 飯能市大字平戸 130-2
(2) 訪問時間 午後 1 時から午後 2 時まで
(3) 特徴など

～廃校した小学校を利活用した「通学型単位制の通信制高校」～

- 廃校した旧「東吾野小学校(創立 134 年)」の校舎等を利活用し、不登校経験のある生徒や普通の通学が難しい生徒などを主な対象として、令和 4 年 4 月に開校した「通学型単位制の通信制高校」です。
- 生徒のペースや状況に応じ、通学や自宅学習を柔軟に選択することができ、無理のない登校スタイルで高校卒業資格の取得を目指せるのが特徴の一つとなっています。
- 生徒の学習意欲の向上や登校への動機付けのため、自然環境を活かすとともに、e スポーツができるゲーミングルームを設置し、e スポーツを選択授業や部活動に採用するなどの工夫がされています。
- 地域の思い出がつまった小学校が高校として生まれ変わったことを、地域の皆さんが好意的に受け止めており、地域住民との交流が活発に行われています。一例としては、学校菜園において、地域住民の手ほどきを受けながら、生徒たちが野菜の栽培や収穫体験などを行い、生徒のコミュニケーション能力向上にもつなげています。
- 訪問先では校内を視察し、生徒との交流を図るとともに、学校関係者や地域住民の方々と意見交換を行います。

2 株式会社大平き^{おおだいら}のこ研究所

- (1) 所在地 飯能市芦荻場 320
(2) 訪問時間 午後 2 時 35 分から午後 3 時 35 分まで
(3) 特徴など

～「黒舞茸」の量産化に成功した農業ベンチャー企業～

- 平成 27 年に設立した株式会社大平き^{おおだいら}のこ研究所は、天然の舞茸の中で、希少で美味しいと言われている「黒舞茸」を独自の研究開発技術により、世界で初めて量産化に成功し、安価な提供を可能にしています。
- 令和 3 年に飯能市に本社機能を移転し、飯能工場の本格稼働により、令和 4 年の埼

玉島の舞茸生産量は前年比で約1,000トン増え、全国順位は12位から7位に上昇しました。同社は埼玉県「舞茸生産量」を全国トップレベルにすることを目標の一つに掲げています。

- 「茸土（きのこし）」と呼ばれる職人が、天然物の品質に近づける生産管理をするなど、「品質」も追求、令和5年に「ジャパン・フード・セレクション」グランプリを受賞しています。
- 「黒舞茸」は令和3年12月に飯能市のふるさと納税返礼品として採用され、人気を博しております。
- 訪問先では工場を視察し、黒舞茸の試食などを行うとともに、役員や社員の方々と意見交換を行います。

3 阿須運動公園ホッケー場

- (1) 所在地 飯能市大字阿須 812-3
- (2) 訪問時間 午後4時から午後5時まで
- (3) 特徴など

～「ホッケーのまち飯能」を象徴する拠点施設～

- 阿須運動公園ホッケー場は、国際基準の人工芝を使用した日本ホッケー協会公認のホッケー競技場です。（令和5年3月に人工芝をリニューアル、ウォーターベースグラウンド6,591㎡、夜間照明等完備）
- 飯能市とホッケーのつながりは古く、昭和42年に国体の会場になったのをきっかけに市民に広まり、現在では小学生から大学生、社会人までの10を超えるホッケーチームが活動しています。
- 飯能市は昨年11月、日本ホッケー協会から全国で19自治体選ばれた「公式ホッケータウン」の一つに認定されています。
- 市では、市内小中学校で「ホッケー体験教室」の開催や、ホッケーを中学1年の体育の必修授業にするなど、市内の子どもたち全員にホッケー競技を経験する機会を設け、ホッケーを通じた郷土愛の醸成にもつなげています。
- 訪問先では施設を視察し、模擬試合の観戦やホッケー体験をするとともに、関係団体代表や選手、指導者の方々と意見交換を行います。